

○予算をめぐる官僚との対話

国会が始まると、この時期、予算の中身や今国会で出される予定の法案説明を、各役所の担当からうけます。政策として安倍内閣や自民党が打ち出している耳障りのいい話に対して、現実、役所で具体的な予算や制度として今年出てきている話に、大きな乖離がある。そんな、事例を幾つか書き出してみます。

▼35人以下学級は教育界の最重要課題

まず学校の少人数学級化への対応です。文部科学委員会で、35人学級を国として制度化しようという決議を採択しました。複雑な社会情勢に生きる子供たちに対応をするためには、先生が生徒一人一人に十分な時間が取れる環境を作ることが大切だということを自民党や公明党も認識して、率先して決議には賛成をしました。文科大臣もその必要性を力説しています。しかし、現実の予算では、教職員定数は実質減少、私たちが提出している35人学級の法制化にも、賛成する気配はありません。

▼低所得者の負担軽減は税金の再配分が必要

消費税が2%増税されます。政府は、低所得者の痛税感を和らげるために食料品や新聞になどは据え置き軽減税率を適用したいと言います。そのために一兆円が予定より不足します。専門家の試算では、この方法では、所得の低い人より高い人の方が有利な計算になります。だから、私たちは、所得の低い人に直接税を戻す還付方式の方が、低所得者対策には有効だと言っています。さらに、還付だと、どの商品が軽減税率になるのか判断する必要がなくなり、店先での混乱も回避できるのです。財務省の役人たちは、「個人的には」という枕詞を付けますが、私たちに賛成します。自民党が選挙を有利に運ぶために、公明党の案を採用したとも言われています。専門家の間でもこうした決まり方に憤りがあります。特に税理士会は政府与党案には大反対です。

▼オリンピックに使われる税金はいったいいくら？

オリンピックが開かれることで、2兆円の経済効果があると政府が発表しています。スポーツ庁が各省庁の今年分のオリンピック関係予算の説明に来ました。「今年はともかく、オリンピック開催までに、トータルで国の予算がどれだけ、また、サッカーくじから引っ張る資金がどれだけ必要か。同時に、主催する東京都は税金をいくら投入しなければならないのか？」と尋ねると、来年以降の予算は、財務省との折衝なのでここで数字にコミットできませんとのこと。コストについては、こんな無責任な状態で、2兆円の効果だけが宣伝さ

れます。狸の皮算用です。

▼TPP でどこまで影響が出るのか、説明責任を果せ

TPP の議論が本格化してきます。過去に、「TPP 断固反対」と書いて選挙を戦った自民党の議員たちは、今は、全くのだんまりです。経済効果の政府試算を出すことを要求していません。最近、農業分野だけは、出てきました。結論は大丈夫ということですが、その前提は、政府があらゆる対策を打つからということです。私たちは、非常に厳しい影響が出るから、それに見合う政府の対策をとるとすれば、税金はどれほど使わなくてはならないのかを議論するつもりです。ところが、政府の姿勢は、すべて私たちがやるから、悪い影響は出ない。「大丈夫」というのです。こんな話では議論ができません。

▼無謀な日銀の政策に伴う国家のリスク

極めつけは、日本銀行の国債の大量買い付けと GPIF(年金積立金管理運用(独))による株式買い付けです。それぞれ大きなリスクをはらみながら大量に買い付けていますが、今は良くて、最終的には、莫大な損出を出すことは目に見えています。日銀は、その時のために、今から資金を積み立てておこうという法律を脇目も振らず出しています。アベノミクスが見せかけの経済だということが見えてきたことが、国債の買い入れだけでなく、マイナス金利や、株式の空前の大量買いに拍車をかけています。切羽詰ってきた中で、日銀は、いつまでも今の無謀な政策を続けられないから、「今のうちに今度は政府がやるべきことをやれ。」と言っています。日銀は、政府に対して国内投資のための構造改革、消費を喚起する賃上げ、借金を抑える歳出抑制などの効果ある政策を求めています。しかし政府は、言葉は躍るが、実質結果を出せないまま、先祖がえりの無駄の多い予算を組んでいます。危機感の欠如です。

○野党が一丸となって安倍さんの暴走を止める

新春の会には沢山の皆さんにご参加いただきました。ありがとうございます。「中川さん、民主党は、解党するという話は本当か？共産党と一緒にやるのは、どうかな。」こうした質問を、たくさんいただきました。改めて恐縮しています。基本は、野党が一緒になって、自民党や安倍さんの暴走をこの参議院選挙でストップさせることです。そのために、維新をはじめ一緒になっていける党とは、合体することが正しいと思います。民主党が他を吸収するのがいいのか、皆が解党して新しい党でやるのがいいのか、岡田さんは3月中に決めると言っています。選挙で、一人でも多くの仲間が当選し、安倍さんの暴走を止める、まずはそこからです。